

農産高等学校令和5年度 教科 国語 科目 : 現代文A 年間授業計画

教科 : 国語 科目 : 国語総合 単位数 : 3単位

対象学年組 : 第3学年1組～4組

教科担当者 : (1組 : 米山) (2組 : 中尾) (3組 : 米山) (4組 : 中尾)

使用教科書 : ( 第一学習社 高等学校 改訂版 新編 : 現代文A )

使用教材 : ( 改訂版プレゼミ総合国語 [浜島書店] カラー版新国語便覧 [第一学習社] )

	指導内容	科目国語総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	新しい地球観 (毛利衛)	読み、書き、話し、聞く力を身につけ、的確に表現し理解し、ものの見方や考え方、感じ方を深める態度を育てる。自ら本を手に取り、読んだり調べたりする読書習慣を身に付ける。  近代以降のさまざまな文章を読解し、味わうことで、読書への意欲や関心を持たせる。  文章の内容を理解し、自分の意見を持てるようにする。  文章の内容を目的や課題に応じて読解し、自分の考えを理解されるように表現することができるようにする。  学年に応じた言語、知識を着実に身につける。	初発の感想や疑問点を明確にする。  自分の意見を持ち、内容や作者の意図を判断する。  内容を分析し、意見を相手に伝えられるようにする。  文章を正確に読み、作者の意図を理解する。  テスト・漢字小テスト・ノート・感想文・授業中の発言・挙手など	5
5 月	デューク (江國香織)	読み、書き、話し、聞く力を身につけ、的確に表現し理解し、ものの見方や考え方、感じ方を深める態度を育てる。自ら本を手に取り、読んだり調べたりする読書習慣を身に付ける。  近代以降のさまざまな文章を読解し、味わうことで、読書への意欲や関心を持たせる。  文章の内容を理解し、自分の意見を持てるようにする。  文章の内容を目的や課題に応じて読解し、自分の考えを理解されるように表現することができるようにする。  学年に応じた言語、知識を着実に身につける。	疑問点を明確にし、読み味わえたことを実感する  内容や作者の意図を判断し、感想を持つ。  文学作品に親しみ、人生を豊かにする態度を育てる。  作者を知り、文学史的意義や評価を知る。  テスト・漢字小テスト・ノート・感想文・授業中の発言・挙手など	6
6 月	支え合うことの意味 (鷲田清一)	読み、書き、話し、聞く力を身につけ、的確に表現し理解し、ものの見方や考え方、感じ方を深める態度を育てる。自ら本を手に取り、読んだり調べたりする読書習慣を身に付ける。  近代以降のさまざまな文章を読解し、味わうことで、読書への意欲や関心を持たせる。  文章の内容を理解し、自分の意見を持てるようにする。  文章の内容を目的や課題に応じて読解し、自分の考えを理解されるように表現することができるようにする。  学年に応じた言語、知識を着実に身につける。	疑問点を明確にし、読み味わえたことを実感する  自分の意見を持ち、内容や作者の意図を判断する。  内容を分析し、意見を相手に伝えられるようにする。  文章を正確に読み、作者の意図を理解する。  テスト・漢字小テスト・ノート・感想文・授業中の発言・挙手など	10

	指導内容	科目国語総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	小論文（自己推薦文）の書き方	<p>読み、書き、話し、聞く力を身につけ、的確に表現し理解し、ものの見方や考え方、感じ方を深める態度を育てる。自ら本を手に取り、読んだり調べたりする読書習慣を身に付ける。</p> <p>自分なりの意見を持ち、文章化する。</p> <p>自ら学び考え、判断する態度を養う。</p> <p>意見を持ち、それを的確に相手に伝えられるようにする。</p> <p>内容に適した小論文のパターンを理解する。</p>	<p>初発の感想や疑問を明確にし、読み味わったことを実感する。</p> <p>自分なりの意見を持ち、文章化する。</p> <p>自ら学び考え、判断する態度を養う。</p> <p>意見を持ち、それを的確に相手に伝えられるようにする。</p> <p>内容に適した小論文のパターンを理解する。</p>	8
8月				
9月	<p>汚れつちまつた悲しみに…（中原中也）</p> <p>永訣の朝（宮沢賢治）</p>	<p>読み、書き、話し、聞く力を身につけ、的確に表現し理解し、ものの見方や考え方、感じ方を深める態度を育てる。自ら本を手に取り、読んだり調べたりする読書習慣を身に付ける。</p> <p>近代以降のさまざまな文章を読解し、味わうことで、読書への意欲や関心を持たせる。</p> <p>文章の内容を理解し、自分の意見を持てるようにする。</p> <p>文章の内容を目的や課題に応じて読解し、自分の考えを理解されるように表現することができるようにする。</p> <p>学年に応じた言語、知識を着実に身につける。</p>	<p>疑問点を明確にし、読み味わえたことを実感する</p> <p>内容や作者の意図を判断し、感想を持つ。</p> <p>文学作品に親しみ、人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>作者を知り、文学史的意義や評価を知る。</p> <p>テスト・漢字小テスト・ノート・感想文・授業中の発言・挙手など</p>	6
10月	山月記（中島敦）	<p>読み、書き、話し、聞く力を身につけ、的確に表現し理解し、ものの見方や考え方、感じ方を深める態度を育てる。自ら本を手に取り、読んだり調べたりする読書習慣を身に付ける。</p> <p>近代以降のさまざまな文章を読解し、味わうことで、読書への意欲や関心を持たせる。</p> <p>文章の内容を理解し、自分の意見を持てるようにする。</p> <p>文章の内容を目的や課題に応じて読解し、自分の考えを理解されるように表現することができるようにする。</p> <p>学年に応じた言語、知識を着実に身につける。</p>	<p>疑問点を明確にし、読み味わえたことを実感する</p> <p>内容や作者の意図を判断し、感想を持つ。</p> <p>文学作品に親しみ、人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>作者を知り、文学史的意義や評価を知る。</p> <p>テスト・漢字小テスト・ノート・感想文・授業中の発言・挙手など</p>	15
11月	ナイン（井上ひさし）	<p>読み、書き、話し、聞く力を身につけ、的確に表現し理解し、ものの見方や考え方、感じ方を深める態度を育てる。自ら本を手に取り、読んだり調べたりする読書習慣を身に付ける。</p> <p>近代以降のさまざまな文章を読解し、味わうことで、読書への意欲や関心を持たせる。</p> <p>文章の内容を理解し、自分の意見を持てるようにする。</p> <p>文章の内容を目的や課題に応じて読解し、自分の考えを理解されるように表現することができるようにする。</p> <p>学年に応じた言語、知識を着実に身につける。</p>	<p>疑問点を明確にし、読み味わえたことを実感する</p> <p>内容や作者の意図を判断し、感想を持つ。</p> <p>文学作品に親しみ、人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>作者を知り、文学史的意義や評価を知る。</p> <p>テスト・漢字小テスト・ノート・感想文・授業中の発言・挙手など</p>	8

	指導内容	科目国語総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	出島のチューリップ (吉田直哉)	<p>読み、書き、話し、聞く力を身につけ、的確に表現し理解し、ものの見方や考え方、感じ方を深める態度を育てる。自ら本を手に取り、読んだり調べたりする読書習慣を身に付ける。</p> <p>近代以降のさまざまな文章を読解し、味わうことで、読書への意欲や関心を持たせる。</p> <p>文章の内容を理解し、自分の意見を持てるようにする。</p> <p>文章の内容を目的や課題に応じて読解し、自分の考えを理解されるように表現することができるようにする。</p> <p>学年に応じた言語、知識を着実に身につける。</p>	<p>疑問点を明確にし、読み味わえたことを実感する</p> <p>自分の意見を持ち、内容や作者の意図を判断する。</p> <p>内容を分析し、意見を相手に伝えられるようにする。</p> <p>文章を正確に読み、作者の意図を理解する。</p> <p>テスト・漢字小テスト・ノート・感想文・授業中の発言・挙手など</p>	4
1 月	ひよこの眼 (山田詠美) 情報の探し方・ことわざ・文学史	<p>読み、書き、話し、聞く力を身につけ、的確に表現し理解し、ものの見方や考え方、感じ方を深める態度を育てる。自ら本を手に取り、読んだり調べたりする読書習慣を身に付ける。</p> <p>近代以降のさまざまな文章を読解し、味わうことで、読書への意欲や関心を持たせる。</p> <p>文章の内容を理解し、自分の意見を持てるようにする。</p> <p>文章の内容を目的や課題に応じて読解し、自分の考えを理解されるように表現することができるようにする。</p> <p>学年に応じた言語、知識を着実に身につける。</p>	<p>社会人として必要な知識や教養を身につける。</p> <p>自ら学び考え、判断する態度を養う。</p> <p>文学作品に親しみ、人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>文学に関心を持ち、幅広い知識と教養を身につける。</p> <p>テスト・漢字小テスト・ノート・感想文・授業中の発言・挙手など</p>	9
2 月				
3 月				

# 令和5年度 年間授業計画

教科・科目・単位	地理歴史科・日本史A・2単位	対象学年・組	3年1～4組
教科書(出版社)	高等学校改訂版日本史A人・くらし・未来(第一学習社)	副教材など	プロムナード日本史(浜島書店)
教科担任	石田 多英		

## 1 科目の目標

- ①日本の歴史を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解させる。
- ②現代の諸課題を歴史的観点と関連づけて考察し、適切に表現する

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	歴史的な出来事や社会の変容の背景にある原因やきっかけを意欲的に考察する。
思考・判断・表現	図表や資料のデータをもとに歴史の背景や社会変容の影響を考察し、論理的に説明することができる。
技能	図表や資料から、歴史の背景や社会変容の影響について適切に読み取り、論理的に説明することができる。
知識・理解	歴史的な出来事と社会の影響について理解する。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	4月	開国と尊王攘夷運動	歴史的な出来事や社会の変容について意欲的に考察している。	図表や資料を利用して背景や影響を考察し論理的に説明することができる。	図表や資料から背景や影響を適切に読み取り、論理的に説明できる。	歴史的な出来事と社会の影響について理解する。	6	
	5月	倒幕運動と明治維新	歴史的な出来事や社会の変容について意欲的に考察している。	図表や資料を利用して背景や影響を考察し論理的に説明することができる。	図表や資料から背景や影響を適切に読み取り、論理的に説明できる。	歴史的な出来事と社会の影響について理解する。	6	
	6月	日清・日露戦争	歴史的な出来事や社会の変容について意欲的に考察している。	図表や資料を利用して背景や影響を考察し論理的に説明することができる。	図表や資料から背景や影響を適切に読み取り、論理的に説明できる。	歴史的な出来事と社会の影響について理解する。	8	
	7月	近代産業の発展	歴史的な出来事や社会の変容について意欲的に考察している。	図表や資料を利用して背景や影響を考察し論理的に説明することができる。	図表や資料から背景や影響を適切に読み取り、論理的に説明できる。	歴史的な出来事と社会の影響について理解する。	6	
2学期	9月	第一次世界大戦	歴史的な出来事や社会の変容について意欲的に考察している。	図表や資料を利用して背景や影響を考察し論理的に説明することができる。	図表や資料から背景や影響を適切に読み取り、論理的に説明できる。	歴史的な出来事と社会の影響について理解する。	8	
	10月	護憲運動と大衆文化の形成	歴史的な出来事や社会の変容について意欲的に考察している。	図表や資料を利用して背景や影響を考察し論理的に説明することができる。	図表や資料から背景や影響を適切に読み取り、論理的に説明できる。	歴史的な出来事と社会の影響について理解する。	8	
	11月	第二次世界大戦	歴史的な出来事や社会の変容について意欲的に考察している。	図表や資料を利用して背景や影響を考察し論理的に説明することができる。	図表や資料から背景や影響を適切に読み取り、論理的に説明できる。	歴史的な出来事と社会の影響について理解する。	8	
	12月	戦後の復興と日本国憲法	歴史的な出来事や社会の変容について意欲的に考察している。	図表や資料を利用して背景や影響を考察し論理的に説明することができる。	図表や資料から背景や影響を適切に読み取り、論理的に説明できる。	歴史的な出来事と社会の影響について理解する。	6	
3学期	1月	高度経済成長期	歴史的な出来事や社会の変容について意欲的に考察している。	図表や資料を利用して背景や影響を考察し論理的に説明することができる。	図表や資料から背景や影響を適切に読み取り、論理的に説明できる。	歴史的な出来事と社会の影響について理解する。	6	
	2月	バブル崩壊と冷戦の終結	歴史的な出来事や社会の変容について意欲的に考察している。	図表や資料を利用して背景や影響を考察し論理的に説明することができる。	図表や資料から背景や影響を適切に読み取り、論理的に説明できる。	歴史的な出来事と社会の影響について理解する。	4	
	3月							

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期( <u>中間</u> ・ <u>期末</u> ) 2学期( <u>中間</u> ・ <u>期末</u> ) 3学期( <u>期末</u> )
作品法	実習結果 レポート ワークシート 他( )
観察法	授業中の <u>発言</u> ・ <u>挙手</u> など 他( )
その他	

農産高等学校令和5年度 地理歴史科 世界史A 年間授業計画

教科：地理歴史科 科目：世界史A 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～4組

教科担当者：(1組：渡辺克彦) (2組：渡辺克彦) (3組：渡辺克彦) (4組：渡辺克彦)

使用教科書：(明解 世界史A )

使用教材：(明解世界史図説 )

	指導内容	世界史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	原始・古代国家と4大文明 メソポタミア文明 エジプト文明	人類の起源と文明の成立過程を理解する。狩猟採集の時代から農耕牧畜の時代へと変化により文明が誕生したことを理解する。 チグリス川とユーフラテス川流域に文明が発達した理由と文明の特徴を理解する。 エジプト文明に関心を持たせ、今なお解明されていないエジプトの謎について関心を持たせる。	プリントの取組状況、授業態度、発言、テストの結果、ファイルの提出状況など。	8
5月	オリエントの歴史 古代ギリシアの文明 ギリシアの民主政 古代ギリシアの文化 ローマ帝国の発展と混乱	オリエントはなぜ日が昇るところと言われたのか考察させる。 エーゲ文明の特徴について理解する。 ポリスで行われていた民主政の成立過程と特徴を理解し、現代の民主主義と比較する。 ギリシア哲学について学び、自らも正義論について考察する。 ローマ帝国の成立から内乱の一世紀までの流れを把握する。	プリントの取組状況、授業態度、発言、テストの結果、ファイルの提出状況など。	8
6月	ローマ帝国の分裂とキリスト教 キリスト教の発展 中国の統一国家 南アジアと東南アジアの歴史	ローマ帝国の分裂要因とキリスト教の成立過程について理解する。 キリスト教の特徴と発展について理解する。 中華文明の成立と古代中国の統一国家の特徴を把握する。 インダス文明の特徴と古代インドに成立した国家についての興亡を把握する。	プリントの取組状況、授業態度、発言、テストの結果、ファイルの提出状況など。	8
7月	イスラーム教の誕生 イスラーム国家の発展と分裂	イスラーム教の成立と特徴を理解する。 イスラーム国家の発展と分裂について、その要因を理解する。	プリントの取組状況、授業態度、発言、テストの結果、ファイルの提出状況など。	6
8月				
9月	西ヨーロッパ世界の誕生 ローマ教皇の権力構造 ルネサンス 宗教改革 大航海時代の始まり	東西ヨーロッパの成立過程を理解する。 教皇の強大な権力と封建社会の構造を理解し、十字軍遠征の理由とその影響を考察する。 ルネサンスとは何かを理解し、代表的な芸術や科学文化を把握する。 ルターやカルビンの宗教改革の発端と内容、その影響を理解する。 大航海時代はなぜ始まったのかを理解し、コロンブスやガマ、マゼランの航路を把握する。	プリントの取組状況、授業態度、発言、テストの結果、ファイルの提出状況など。	8
10月	大航海時代の影響 主権国家体制の始まり 絶対王政の時代 アジア・アメリカに進出する欧州 イギリスから独立するアメリカ	コロンブスによる新大陸発見の影響を理解する。 三十年戦争以降、成立したヨーロッパの国際秩序について考察する。 エリザベス一世の治世についてあ版く、イギリスで革命が起きた過程を理解する。 欧州諸国がアジアやアフリカを植民地化し、奴隷貿易が行われていたことを理解する。 アメリカ独立革命の過程を理解し、人権宣言の内容を考察する。	プリントの取組状況、授業態度、発言、テストの結果、ファイルの提出状況など。	8

	指導内容	世界史Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	フランス革命  ナポレオンの活躍 19世紀のヨーロッパと国民国家 南北戦争と戦後の発展  産業革命	フランス革命の過程を理解し、人権宣言の内容を考察する。  ナポレオンの治世とナポレオン戦争がヨーロッパに与えた影響を理解する。 19世紀のヨーロッパの文化を把握し、国民国家の形成過程を考察する。 南北戦争の原因と結果、影響について理解する。  産業革命とは何かを理解し、様々な資料から革命による社会の変化を読み取る。	プリントの取組状況、授業態度、発言、テストの結果、ファイルの提出状況など。	8
12 月	アヘン戦争と東アジアの変容  大衆社会の出兼  帝国主義	アヘン戦争の原因と結果、日本やアジア諸国への影響を考察する。  大衆社会の文化について調べる。  帝国主義とは何かを理解し、植民地と宗主国との関係を考察する。	プリントの取組状況、授業態度、発言、テストの結果、ファイルの提出状況など。	6
1 月	第一次世界大戦前の国際関係  第一次世界大戦 第一次世界大戦から第二次世界大戦へ 第二次世界大戦 冷戦の時代	第一次世界大戦前のヨーロッパ諸国の国際関係を把握し、大戦の原因を理解する。  第一次世界大戦の様相について概観し、戦争終結後の世界を理解する。 第二次世界大戦前の世界の国際関係を把握し、大戦の原因を理解する。 第二次世界大戦の様相について概観し、戦争終結後の世界を理解する。 冷戦体制の下での国際関係を把握し、現代にもたらした影響について考察する。	プリントの取組状況、授業態度、発言、テストの結果、ファイルの提出状況など。	5
2 月	学年末考査			1
3 月				

東京都立高等学校令和5年度 教科 数学 科目 数学Ⅱ 年間授業計画

教科 科：数学 科目：数学Ⅱ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～4組

教科担当者：(1組：黒川・黒津) (2組：黒川・黒津) (3組：黒川・黒津) (4組：黒川・田村)

使用教科書：(実教出版 高校数学Ⅱ)

使用教材：(実教出版 サブノート数学Ⅱ)

	指導内容	数学Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	微分係数	・微分係数の図形的意味を理解できる。 ・微分係数と導関数の関係を理解し、接線の方程式を求め ことができる	考查、提出物、授業 中の発言や取組み	8
5月	導関数の計算	・微分係数の意味を理解し、接線の方程式を求める公式を 身に付けている。 ・微分係数と導関数の関係を理解し、接線の方程式を求め ことができる。	考查、提出物、授業 中の発言や取組み	8
6月	導関数の応用	・関数の値の変化を極限を用いて調べることができる。 ・微分係数の図形的意味を理解できる。	考查、提出物、授業 中の発言や取組み	8
7月	導関数の応用	・関数の値の変化を極限を用いて調べることができる。 ・微分係数の図形的意味を理解できる。	考查、提出物、授業 中の発言や取組み	6
8月				
9月	不定積分	・不定積分の考えを図形の計量に活用できることを理解で きる。 ・不定積分とグラフとの関係を理解している。	考查、提出物、授業 中の発言や取組み	8
10月	定積分	・積分の考えが図形の計量に活用できることを理解でき る。 ・定積分と面積の関係をj用いて、関数で囲まれた図形の面 積を求めることができる。	考查、提出物、授業 中の発言や取組み	8
11月	定積分	・積分の考えが図形の計量に活用できることを理解でき る。 ・定積分と面積の関係をj用いて、関数で囲まれた図形の面 積を求めることができる。	考查、提出物、授業 中の発言や取組み	8
12月	面積	・2つの関数で囲まれた図形の面積を求める考え方を身に 付けている。 ・定積分と面積の関係をj用いて、関数で囲まれた図形の面 積を求めることができる。	考查、提出物、授業 中の発言や取組み	6
1月	いろいろな図形の面積	・2つの関数で囲まれた図形の面積を求める考え方を身に 付けている。 ・定積分と面積の関係をj用いて、関数で囲まれた図形の面 積を求めることができる。	考查、提出物、授業 中の発言や取組み	5
2月	いろいろな図形の面積	・2つの関数で囲まれた図形の面積を求める考え方を身に 付けている。 ・定積分と面積の関係をj用いて、関数で囲まれた図形の面 積を求めることができる。 ・式について考察することにより、図形の考察ができるこ とを理解している。	考查、提出物、授業 中の発言や取組み	2
3月				

農産高等学校令和5年度 教科 理科 科目 化学基礎（3年）年間授業計画

教科：理科 科目：化学 単位数：2単位

対象学年組：（第3学年 1組 2組）

教科担当者：（1組：野田）（2組：野田）

使用教科書：（数研出版 改訂版 新編 化学基礎）

使用教材：（浜島書店 ニューステージ化学図表）

	指導内容	科目国語総合の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	化学と人間生活 ①人間生活の中の化学 ②物質の有効性と危険性 ③化学の役割	身のまわりの物質に着目し、我々の生活が物質に支えられていることを理解する。 化学物質がヒトの健康や環境中の生物に望ましくない影響を与える物質があることを理解する。また、物質が医療や医薬品など身の回りで有用されていることを理解する。 中学で行った物質に関する実験を振り返り、これから学ぶ化学が物質に関する学問であることを理解する。	授業態度、発言、考査の結果、提出物状況など。	8
5月	物質の構成 ①混合物と純物質 ②物質とその成分 ③物質の三態と熱運動	混合物と純物質の違いを理解し、自然界の物質の多くが混合物であることを理解する。また、混合物から目的の物質を分離するには、物質の性質にあわせた方法があることを知る。 原子の構造及び元素の周期律および原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。 粒子の熱運動と温度および物質の三態変化との関係について理解する。	授業態度、発言、考査の結果、提出物状況など。	8
6月	粒子の結合 ①イオンの結合とイオンからなる物質 ②分子と共有結合	陽イオン、陰イオンの生成のしくみを理解する。 陽イオンと陰イオン間の静電的引力によりイオン結合が形成されることを理解する。 イオン結晶の組成式のつくりかたやイオン結晶の性質を理解する。 分子中の原子の結合および分子の構造を表す方法を理解する。	授業態度、発言、考査の結果、提出物状況など。	8
7月	③金属結合と金属 ④化学結合	金属元素の結合と性質を理解する。また、種々の金属について理解する。 それぞれの化学結合によってできた結晶について、その性質や構成粒子などを比較し、理解する。また、それぞれの化学結合でできた代表的な物質について理解する。	授業態度、発言、考査の結果、提出物状況など。	6
8月				
9月	物質と化学反応式 ①原子量・分子量・式量 ②物質質量	非常に小さな質量の原子や分子の質量は、 <sup>12</sup> Cを基準にした相対質量で表されることを知る。また、原子量は、同位体の各原子の相対質量の平均値であることを理解する。 原子量や分子量などに単位グラムをつけた質量中には、同数の原子や分子などが含まれることを理解させ、その具体的な数値が6.0×10 <sup>23</sup> 個で、この粒子の集団を1 molということを知る。	授業態度、発言、考査の結果、提出物状況など。	8
10月	③液体の濃度 ④化学反応式と物質質量	溶液の濃さを表す方法を学習し、質量パーセント濃度、モル濃度の計算を習得する。 簡単な化学反応式とイオン反応式が書けるようになる。 化学反応式の係数比は、物質質量比(気体の場合には、さらに体積比)を表していることを理解し、化学反応式によって、反応物・生成物の質量・体積が求められることを理解する。	授業態度、発言、考査の結果、提出物状況など。	8
11月	酸と塩基の反応 ①酸・塩基 ②水の反応と水溶液のpH	酸・塩基の定義を理解し、酸性・塩基性についても理解する。また、酸と塩基の価数と、酸と塩基の強弱とは、直接関係しないことを理解する。 水素イオン濃度とpHとの関係を知り、pHの値で、水溶液の酸性・塩基性の程度がわかることを理解する。	授業態度、発言、考査の結果、提出物状況など。	8
12月	③中和反応 ④塩	酸と塩基が反応するとたがいの性質を打ち消し、塩を生成することを理解し、また、塩の分類と塩の水溶液の液性を理解する。H <sup>+</sup> とOH <sup>-</sup> とが1:1で反応することを知り、また、中和滴定の計算を理解する。	授業態度、発言、考査の結果、提出物状況など。	6
1月	酸化還元反応 ①酸化と還元 ②酸化剤と還元剤 ③金属の酸化還元反応 ④酸化還元反応の利用	酸素、水素、電子の授受に基づく定義を理解する。とくに、酸化還元反応が電子の授受による反応であることを理解する。 酸化数の求め方、酸化数の変化と酸化・還元との関係を理解する。また、酸化剤・還元剤の定義を知り、両者の反応が酸化還元反応であること理解する。 金属の酸化されやすさの尺度であるイオン化傾向について学習し、個々の金属のイオン化傾向と反応性の関係を探る。 日常生活や社会との関わり方の例として、電池や金属の製錬を理解する。	授業態度、発言、考査の結果、提出物状況など。 授業態度、発言、考査の結果、提出物状況など。	5
2月	学年末考査			1
3月				



農産高等学校令和5年度 教科 理科 科目 生物基礎 (3年) 年間授業計画

教科: 理科 科目: 生物基礎 単位数: 2単位

対象学年組: 第3学年3組~4組

教科担当者: (3組: 植松) (4組: 植松) (〇組: ) (〇組: ) (〇組: ) (〇組: )

使用教科書: (東京書籍「生基311 改訂生物基礎」)

使用教材: (「改訂レッツトライノート 生物基礎」)

	指導内容	科目 生物基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 (3) 1節 多様な生物にみられる共通性 2節 生物の共通性としての細胞  2章 生命活動とエネルギー 1節 エネルギーと代謝	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な生物種が見られるのは、さまざまな生育環境に適応した結果であることを理解する。</li> <li>すべての生物には、共通した特徴が見られることから、共通の祖先から生じた結果であるということを理解する。</li> <li>物質の分解や合成には必ずエネルギーの出入りが伴うことを理解する。</li> <li>生命活動に必要なエネルギーはATPに含まれる化学エネルギーが利用されることを理解する。</li> </ul>	授業態度、考査および小テスト、ノート、ワークその他の提出物状況など。	6
5月	2章 生命活動とエネルギー 1節 エネルギーと代謝  3節 生体内におけるエネルギー変換	<ul style="list-style-type: none"> <li>代謝には必ず酵素という触媒が関与していることを理解する。</li> <li>酵素の主成分はタンパク質であるため、基質特異性や最適温度、最適pHといった性質が生じることを理解する。</li> <li>光合成は、光エネルギーを有機物に含まれる化学エネルギーに変換する過程であることを理解する。</li> <li>光合成では、まず光エネルギーを生命活動に利用できるATPの化学エネルギーに変換することから始まることを知る。</li> </ul>	授業態度、考査および小テスト、ノート、ワークその他の提出物状況など。	6
6月	3節 生体内におけるエネルギー変換	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸は、有機物に含まれる化学エネルギーをATPに含まれる化学エネルギーに変換する過程であることを理解する。</li> <li>呼吸では、有機物に含まれる化学エネルギーを段階的に取り出すことで、効率よくATPの化学エネルギーに変換していることを知る。</li> </ul>	授業態度、考査および小テスト、ノート、ワークその他の提出物状況など。	8
7月	4節 ミトコンドリアと葉緑体の起源  2編 遺伝子とそのはたらき 1章 生物と遺伝子 (5) 1節 遺伝情報とDNA	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミトコンドリアと葉緑体は、他の原核細胞と共生したことで獲得した細胞小器官であり、これによって光合成や呼吸といった効率の良い代謝のしくみを獲得したことを理解する。</li> <li>生物の特徴や性質は遺伝情報によって決まることを理解する。</li> <li>メンデルの研究からDNAの構造面・機能面の解明までの遺伝研究の科学史に触れ、興味関心を高める。</li> <li>身のまわりの材料を用いてDNAを抽出することで、どんな生物もDNAを持つことを理解する。</li> </ul>	授業態度、考査および小テスト、ノート、ワークその他の提出物状況など。	6
8月				
9月	2節 DNAの構造  3節 ゲノムと遺伝情報  2章 遺伝情報の分配 (4) 1節 細胞分裂とDNA 2節 細胞周期とDNAの複製 2節 細胞周期とDNAの複製	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAはヌクレオチドが数珠状につながった高分子であることを理解する。</li> <li>ゲノムとは生物が生命活動を営むために必要なすべての遺伝情報であることを理解する。</li> <li>DNAは二重らせん構造をとっており、お互いの塩基間に相補性がある意義を理解する。</li> <li>DNAの塩基配列が遺伝情報を担っていることを理解する。</li> <li>染色体の挙動に着目して、体細胞分裂の過程を理解し、その際、遺伝情報が均等に分配されることを理解する。</li> <li>細胞周期の過程を理解するとともに、S期におけるDNAの複製は相補性を利用して正確に行われていることを理解する。</li> </ul>	授業態度、考査および小テスト、ノート、ワークその他の提出物状況など。	8
	3章 遺伝情報とタンパク質の合成	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命活動を営むには生物ごとに固有のタンパク質が必須であり、DNAの遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を理解する。</li> </ul>	授業態度、考査および小テスト、ノート、ワークその他の提出物状況など。	

	指導内容	科目 生物基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	2節 転写・翻訳 4節 遺伝子の発現と生命現象 3編 生物の体内環境の維持 1章 体内環境 (8) 1節 体内環境の特徴 3節 体内環境を調節する器官	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAの塩基配列と相補的な配列のRNAが合成されることが転写であることを理解する。</li> <li>・RNAの塩基配列をタンパク質のアミノ酸配列に変換する過程が翻訳であることを理解する。</li> <li>・体内環境を一定に保とうとする恒常性というしくみがあることを理解する。</li> <li>・肝臓や腎臓のつくりやはたらきを学び、体液の量や成分を一定に保つことで体内環境を維持していることを理解する。</li> </ul>		8
11月	2章 体内環境を維持するしくみ 1節 自律神経系による調節 2節 内分泌系による調節 3節 自律神経系と内分泌系による協同調節 3章 免疫 (11) 1節 生体防御と免疫 2節 自然免疫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視床下部で体内環境の変化を感知し、交感神経と副交感神経が拮抗的にはたらくことで、迅速に調節が行われていることを理解する。</li> <li>・内分泌腺で作られたホルモンは、標的細胞にある受容体に結合することで作用することを学ぶ。</li> <li>・血糖値や体温の調節は、自律神経系と内分泌系がはたらきあうことで調節されていることを理解する。</li> <li>・からだを守ることで、体内環境が維持されていることを学ぶ。</li> </ul>	授業態度、考査および小テスト、ノート、ワークその他の提出物状況など。	8
12月	3節 適応免疫 4編 生物の多様性と生態系 1章 植生の多様性と遷移 (4) 1節 植生とその環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞性免疫のしくみを理解し、臓器移植などでの拒絶反応が生じてしまうことを理解する。</li> <li>・体液性免疫のしくみと、抗体による抗原抗体反応によって抗原が無毒されるしくみを理解する。</li> <li>・植生は、年降水量と年間平均気温によって決まることを理解する。</li> <li>・森林の植生は、階層構造を形成することでより豊かな生物多様性を支えていることを理解する。</li> </ul>	授業態度、考査および小テスト、ノート、ワークその他の提出物状況など。	6
1月	2節 植生の遷移 2章 バイオームとその分布 (5) 1節 気候とバイオーム 2節 陸上のバイオーム 3章 生態系とその保全 (6) 1節 生態系とエネルギーの流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植生は普遍的なものではなく、時間とともにその環境に適応した植物からなる植生へと変化していることを理解する。</li> <li>・植生を基盤として、動物や微生物の集まりができるため、似たような環境には、同じような相観のバイオームが形成されることを理解する。</li> <li>・陸上のバイオームは、年降水量や年平均気温などの違いによって、さまざまなバイオームが形成されることを理解</li> <li>・生態系の生物どうしは、食物連鎖でつながっており、その中を物質やエネルギーが移動していることを学ぶ。</li> </ul>	授業態度、考査および小テスト、ノート、ワークその他の提出物状況など。	6
2月	2節 生態系での物質の循環 3節 生態系のバランスと保全	生態系には復元力があるが、人為的な開発や火山の噴火などによって大きな攪乱が生じると、もと通りには戻らないことがあることを理解する。	授業態度、考査および小テスト、ノート、ワークその他の提出物状況など。	3
3月				

農産高等学校令和5年度 年間授業計画

教科：保健体育科 目：体育 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～4組

教科担当者：（1組：澤野 渡部 佐藤）（2組：澤野 渡部 佐藤）（3組：澤野 鶴野 佐藤）（4組：澤野 鶴野 佐藤）

使用教科書：（現代高等保健体育）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	体づくり運動	体づくり運動 ：オリエンテーション、体ほぐしの運動、体力を高める運動	観察	2
	体育理論	運動やスポーツの効果的な学習の仕方	観察・ノート・レポート	2
	種目選択	豊かなスポーツライフの設計の仕方 【種目選択 前期種目】 サッカー ハンドボール ソフトボール テニス 卓球 バドミントン バスケットボール バレーボール 上記から一つ選択させる	観察・ノート・レポート	2
	ノート作成 各種種目	各種種目における基本練習		
5月	【前期種目】 ノート作成 各種目	各種目における基本練習 ノートの作成 授業計画を立てる。 授業を構成し、グループごとで考えた練習メニューを実施する。	観察・ノート・レポート	6
6月	【前期種目】 ノート作成 各種目	各種目における基本練習 ノートの作成 授業計画を立てる。 授業を構成し、グループごとで考えた練習メニューを実施する。	観察・ノート・レポート	8
7月	【前期種目】 ノート作成 各種目	各種目における応用練習 ノートの作成 授業計画を立てる。 授業を構成し、グループごとで考えた練習メニューを実施する。	観察・ノート・レポート	2
8月				
9月	【前期種目】 ノート作成 各種目	各種目における応用練習 ノートの作成 授業計画を立てる。 授業を構成し、グループごとで考えた練習メニューを実施する。	観察・ノート・レポート	2
	【後期種目】 種目選択	豊かなスポーツライフの設計の仕方 【種目選択 後期種目】 サッカー ハンドボール ソフトボール テニス 卓球 バドミントン バスケットボール バレーボール 上記から一つ選択させる	観察・ノート・レポート	2
	ノート作成 各種種目	各種種目における基本練習		
10月	【前期種目】 ノート作成 各種目	各種目における基本練習 ノートの作成 授業計画を立てる。 授業を構成し、グループごとで考えた練習メニューを実施する。	観察・ノート・レポート	6
11月	【後期種目】 ノート作成 各種目	各種目における基本練習 ノートの作成 授業計画を立てる。 授業を構成し、グループごとで考えた練習メニューを実施する。	観察・ノート・レポート	4
12月	【後期種目】 ノート作成 各種目	各種目における応用練習 ノートの作成 授業計画を立てる。 授業を構成し、グループごとで考えた練習メニューを実施する。	観察・ノート・レポート	4
1月	【後期種目】 ノート作成 各種目	各種目における応用練習 ノートの作成 授業計画を立てる。 授業を構成し、グループごとで考えた練習メニューを実施する。	観察・ノート・レポート	4
2月				
3月				

農産高等学校令和5年度 教科 英語 科目：コミュニケーション英語Ⅱ 年間授業計画

教科：英語 科目：コミュニケーション英語Ⅱ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～4組

教科担当者：(1組：盛川 渋谷 田中) (2組：盛川 渋谷 田中) (3組：田中 廣神 盛川) (4組：田中 廣神 盛川)

使用教科書：(三省堂 VISTA コミュニケーション英語Ⅱ)

使用教材：(三省堂 VISTA コミュニケーション英語Ⅱ WORKBOOK 桐原書店 英文法教室)

	指導内容	科目 コミュニケーション英語Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	Lesson 7 The Galapagos Islands 現在完了進行形・形式目的語it	<ul style="list-style-type: none"> <li>今ガラパゴスで何が起きているかを知る。</li> <li>現在完了進行形</li> <li>形式目的語it</li> </ul>	発問に答える。ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。  教科書の意味内容を理解し、その要約をすることができる。  各文型の文を実際に使われる場面に応じて使える。  新出単語の意味を理解している。文法を含む文の構造を理解している。	3
5月	Lesson 7 The Galapagos Islands 現在完了進行形・形式目的語it  Lesson 8 Shodo, Old and New 部分否定・助動詞+受動態	<ul style="list-style-type: none"> <li>今ガラパゴスで何が起きているかを知る。</li> <li>現在完了進行形</li> <li>形式目的語it</li> <li>伝統文化を新しいスタイルで発展させることについて考える。</li> <li>部分否定</li> <li>can be done</li> </ul>	発問に答える。ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。  教科書の意味内容を理解し、その要約をすることができる。  各文型の文を実際に使われる場面に応じて使える。  新出単語の意味を理解している。文法を含む文の構造を理解している。	7
6月	Lesson 8 Shodo, Old and New 部分否定・助動詞+受動態	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統文化を新しいスタイルで発展させることについて考える。</li> <li>部分否定</li> <li>can be done</li> </ul>	発問に答える。ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。  教科書の意味内容を理解し、その要約をすることができる。  各文型の文を実際に使われる場面に応じて使える。  新出単語の意味を理解している。文法を含む文の構造を理解している。	9
7月	Lesson 8 Shodo, Old and New 部分否定・助動詞+受動態	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統文化を新しいスタイルで発展させることについて考える。</li> <li>部分否定</li> <li>can be done</li> </ul>	発問に答える。ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。  教科書の意味内容を理解し、その要約をすることができる。  各文型の文を実際に使われる場面に応じて使える。  新出単語の意味を理解している。文法を含む文の構造を理解している。	2
8月				
9月	Lesson 9 Water World 関係代名詞非制限用法・現在完了+受動態	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔の水族館、現代の水族館について知り、また現代技術の果たした役割を考える。</li> <li>関係代名詞の非制限用法</li> <li>have been done</li> </ul>	発問に答える。ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。  教科書の意味内容を理解し、その要約をすることができる。  各文型の文を実際に使われる場面に応じて使える。  新出単語の意味を理解している。文法を含む文の構造を理解している。	7
10月	Lesson 9 Water World 関係代名詞非制限用法・現在完了+受動態  Lesson 10 A Long Friendship 過去完了形・強調構文	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔の水族館、現代の水族館について知り、また現代技術の果たした役割を考える。</li> <li>関係代名詞の非制限用法</li> <li>have been done</li> <li>日本とトルコの友好関係を知り、協調、共生のためにはどんな心がけが必要かを考える。</li> <li>過去完了形</li> <li>強調構文</li> </ul>	発問に答える。ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。  教科書の意味内容を理解し、その要約をすることができる。  各文型の文を実際に使われる場面に応じて使える。  新出単語の意味を理解している。文法を含む文の構造を理解している。	8

	指導内容	科目 コミュニケーション英語Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	Lesson 10 A Long Friendship 過去完了形・強調構文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本とトルコの友好関係を知り、協調、共生のためにはどんな心がけが必要かを考える。</li> <li>・過去完了形</li> <li>・強調構文</li> </ul>	<p>発問に答える。ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。</p> <p>教科書の意味内容を理解し、その要約をすることができる。</p> <p>各文型の文を実際に使われる場面に応じて使える。</p> <p>新出単語の意味を理解している。文法を含む文の構造を理解している。</p>	5
12月	Lesson 10 A Long Friendship 過去完了形・強調構文  レシテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本とトルコの友好関係を知り、協調、共生のためにはどんな心がけが必要かを考える。</li> <li>・過去完了形</li> <li>・強調構文</li> <li>・歴史的なスピーチをレシテーションを通して理解し、相手に伝えることの大切さを学ぶ。</li> </ul>	<p>発問に答える。ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。</p> <p>教科書の意味内容を理解し、その要約をすることができる。</p> <p>各文型の文を実際に使われる場面に応じて使える。</p> <p>新出単語の意味を理解している。文法を含む文の構造を理解している。</p>	4
1月	レシテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的なスピーチをレシテーションを通して理解し、相手に伝えることの大切さを学ぶ。</li> </ul>	<p>発問に答える。ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。</p> <p>各文型の文を実際に使われる場面に応じて使える。</p> <p>新出単語の意味を理解している。文法を含む文の構造を理解している。</p> <p>スピーチの内容を理解し、聴衆に対して伝えようとする態度を養う。</p>	7
2月	レシテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的なスピーチをレシテーションを通して理解し、相手に伝えることの大切さを学ぶ。</li> </ul>	<p>発問に答える。ペアワークやグループワークに積極的に取り組む。</p> <p>各文型の文を実際に使われる場面に応じて使える。</p> <p>新出単語の意味を理解している。文法を含む文の構造を理解している。</p> <p>スピーチの内容を理解し、聴衆に対して伝えようとする態度を養う。</p>	1
3月				

# 農産高等学校令和5年度 年間授業計画

教 科： 家庭 科 目： 家庭総合 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年1組～4組

教科担当者： (1組奇数/偶数：井関/清水) (2組奇数/偶数：井関/清水) (3組奇数/偶数：井関/清水) (4組奇数/偶数：井関/清水)

使用教科書： (実教出版)

使用教材： (生活学Navi)

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	自立について/人生設計  高齢社会を生きる	自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解することができる。 ライフイベントにかかる費用を計算することができる。 人生設計の重要性を知る。 QOLを高めるための工夫を考えることができる。 高齢者の心身の特徴を知り、高齢者に対して配慮すべきことを考えることができる。	ワークシート 授業中の発言、小テスト 授業態度など	4
5月	シニア体験  社会保障制度について 成人年齢引き下げについて  食生活について考える	高齢者の心身の特徴を知り、実際に疑似体験をし、高齢者に対する配慮やすべきことを理解することができる。  社会保障の理念と仕組みについて理解する。  成人年齢を迎えるにあたって、できることとできないことを理解し、大人として責任ある行動を意識することができる。  現代の食生活の課題と改善点について理解する。 自身の食生活チェックを通して、食生活における課題点について考え、今後の生活に生かすことができる。	ワークシート、実習記録 授業中の発言、小テスト 授業態度など	10
6月	食品の栄養素とからだの成分  アルコールとたばこ/調理事前学習  調理実習  調理実習事後学習	五大栄養素と水の働きについて理解する。  アルコールとたばこが及ぼす生活習慣病への影響について考えることができる。 アルコールパッチテストで自身の体質について知り、今後の食生活を考えることができる。  調理技術の向上を図る。 安全面に配慮して、仲間と協力して調理することができる。  前回の調理実習の反省点や、次回に向けての目標設定をする。	ワークシート 授業中の発言、小テスト 授業態度など   実習態度、実習の記録	10
7月	定期考査			1
8月				
9月	食事の計画と調理  調理実習  これからの食生活を考える  調べ学習	食事摂取基準を用い、ライフステージに合った栄養バランスを考えることができる。  調理技術の向上を図る。 安全面に配慮して、仲間と協力して調理することができる。  食料自給率の問題や持続可能な食について考え、自身の食生活で実践することができる。  バランスの良い食事の計画を立てることができる。	ワークシート 授業中の発言、小テスト 授業態度など   実習態度、実習の記録	8
10月	調理実習  食文化とマナーについて	調理技術の向上を図る。 安全面に配慮して、仲間と協力して調理することができる。  食事の正しいマナーやそれが自他に与える影響について理解する。	実習態度、実習の記録  ワークシート 授業中の発言、小テスト 授業態度など	10
11月	調理実習  住生活	調理技術の向上を図る。 安全面に配慮して、仲間と協力して調理することができる。  住まいの機能について理解することができる。 間取りや平面表示記号、住空間について学習し、物件情報を読み取ることができる。	実習態度、実習の記録  ワークシート 授業中の発言、小テスト	6
12月	定期考査			1
1月	住居にかかる費用  住空間の設計	1人暮らしの住居を選び、初期費用と家賃計算ができる。  平面図を作成し、住環境のデザインをする。	将来の生活を考えて一人暮らしをシミュレーションできるか。  ワークシート 授業中の発言、小テスト 課題提出など	8
2月	定期考査			1
3月				

# 令和5年度 年間授業計画

教科・科目・単位	果樹	対象学年・組	3年1、2組
教科書(出版社)	果樹(実教出版)	副教材など	
教科担任	増田 博幸		

## 1 科目の目標

果樹の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、果樹の特性や生産に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を身に付ける。

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	果樹に関することに関心を持ち、自ら考え行動することができる。
思考・判断・表現	生育状況に応じた栽培管理の時期や適切な管理を行い、良質な生産品を得ることができる。
技能	道具を正しく扱うことができる。また、作業効率を考え、効果的な方法で実習を行うことができる。
知識・理解	果樹に関する知識を身につけ、授業の内容について十分に理解できる。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	4月	モモの摘果、モモの栽培上の特性と品種・栽培管理について	意欲的・主体的に取り組んでいる。また、メモを取ったり質問をしたりすることができる。	目的・環境に応じて道具や作業行動を適切に選択することができる。	毎回の実習、観察・記録や、除草などの園芸作業を行い、適切に記録をとることができる。	実習の目的を理解している。また、果樹の総論、各論についての座学内容を理解している。	8	
	5月	モモの袋かけ、キウイフルーツの芽かき・摘心、モモの栽培上の特性と品種・栽培管理について	意欲的・主体的に取り組んでいる。また、メモを取ったり質問をしたりすることができる。	目的・環境に応じて道具や作業行動を適切に選択することができる。	毎回の実習、観察・記録や、除草などの園芸作業を行い、適切に記録をとることができる。	実習の目的を理解している。また、果樹の総論、各論についての座学内容を理解している。	8	
	6月	キウイフルーツの摘果、モモの除袋、モモの栽培上の特性と品種・栽培管理について	意欲的・主体的に取り組んでいる。また、メモを取ったり質問をしたりすることができる。	目的・環境に応じて道具や作業行動を適切に選択することができる。	毎回の実習、観察・記録や、除草などの園芸作業を行い、適切に記録をとることができる。	実習の目的を理解している。また、果樹の総論、各論についての座学内容を理解している。	8	
	7月	期末考査	意欲的・主体的に取り組んでいる。また、メモを取ったり質問をしたりすることができる。	目的・環境に応じて道具や作業行動を適切に選択することができる。	毎回の実習、観察・記録や、除草などの園芸作業を行い、適切に記録をとることができる。	実習の目的を理解している。また、果樹の総論、各論についての座学内容を理解している。	2	
2学期	9月	キウイフルーツの夏季せん定、キウイフルーツの栽培上の特性と品種・栽培管理について	意欲的・主体的に取り組んでいる。また、メモを取ったり質問をしたりすることができる。	目的・環境に応じて道具や作業行動を適切に選択することができる。	毎回の実習、観察・記録や、除草などの園芸作業を行い、適切に記録をとることができる。	実習の目的を理解している。また、果樹の総論、各論についての座学内容を理解している。	10	
	10月	深耕施肥、キウイフルーツとブドウの栽培上の特性と品種・栽培管理について	意欲的・主体的に取り組んでいる。また、メモを取ったり質問をしたりすることができる。	目的・環境に応じて道具や作業行動を適切に選択することができる。	毎回の実習、観察・記録や、除草などの園芸作業を行い、適切に記録をとることができる。	実習の目的を理解している。また、果樹の総論、各論についての座学内容を理解している。	10	
	11月	キウイフルーツの収穫・選別・追熟処理、深耕施肥、ブドウの栽培上の特性と品種・栽培管理について	意欲的・主体的に取り組んでいる。また、メモを取ったり質問をしたりすることができる。	目的・環境に応じて道具や作業行動を適切に選択することができる。	毎回の実習、観察・記録や、除草などの園芸作業を行い、適切に記録をとることができる。	実習の目的を理解している。また、果樹の総論、各論についての座学内容を理解している。	10	
	12月	期末考査	意欲的・主体的に取り組んでいる。また、メモを取ったり質問をしたりすることができる。	目的・環境に応じて道具や作業行動を適切に選択することができる。	毎回の実習、観察・記録や、除草などの園芸作業を行い、適切に記録をとることができる。	実習の目的を理解している。また、果樹の総論、各論についての座学内容を理解している。	4	
3学期	1月	モモの剪定	意欲的・主体的に取り組んでいる。また、メモを取ったり質問をしたりすることができる。	目的・環境に応じて道具や作業行動を適切に選択することができる。	毎回の実習、観察・記録や、除草などの園芸作業を行い、適切に記録をとることができる。	実習の目的を理解している。また、果樹の総論、各論についての座学内容を理解している。	8	
	2月	学年末考査	意欲的・主体的に取り組んでいる。また、メモを取ったり質問をしたりすることができる。	目的・環境に応じて道具や作業行動を適切に選択することができる。	毎回の実習、観察・記録や、除草などの園芸作業を行い、適切に記録をとることができる。	実習の目的を理解している。また、果樹の総論、各論についての座学内容を理解している。	2	
	3月		意欲的・主体的に取り組んでいる。また、メモを取ったり質問をしたりすることができる。	目的・環境に応じて道具や作業行動を適切に選択することができる。	毎回の実習、観察・記録や、除草などの園芸作業を行い、適切に記録をとることができる。	実習の目的を理解している。また、果樹の総論、各論についての座学内容を理解している。		

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期(中間・ <u>期末</u> ) 2学期(中間・ <u>期末</u> ) 3学期( <u>期末</u> )
作品法	実習結果 <u>ポ</u> <u>ート</u> <u>ワ</u> <u>ク</u> <u>ン</u> <u>ト</u> 他( )
観察法	授業中の発言・挙手など 他( <u>実習の様子</u> )
その他	

# 令和5年度 年間授業計画

教科・科目・単位	農業・植物バイオテクノロジー・2単位	対象学年・組	3年1組・2組
教科書(出版社)	実務教育出版「図解 植物バイオテクノロジー」	副教材など	なし
教科担任	岡田満江		

## 1 科目の目標

農業生産などにおいて実用化されている植物バイオテクノロジーについて、その応用に必要とされる基礎的な知識と技術を習得する。

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	植物バイオテクノロジーに関心を持ち、実習に意欲的に参加する態度を養う。
思考・判断・表現	実習を通して、観察結果をまとめたり、的確な処理ができるようにする。
技能	実験・実習において、的確な操作や準備ができるようにする。
知識・理解	植物バイオテクノロジーの基礎的な知識を身につける。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	4月	無菌操作の進め方の確認 植物ホルモンを用いた培地作製	実験態度や授業中の発言によって評価する	実験や実習準備の様子により評価する	実験の過程や成果物により評価する	実験レポート・筆記試験によって評価する	2	
	5月	ラン類の培養	実験態度や授業中の発言によって評価する	実験や実習準備の様子により評価する	実験の過程や成果物により評価する	実験レポート・筆記試験によって評価する	4	
	6月	培養植物の管理 ユリの花器官培養	実験態度や授業中の発言によって評価する	実験や実習準備の様子により評価する	実験の過程や成果物により評価する	実験レポート・筆記試験によって評価する	4	
	7月	細胞融合について 遺伝子組み換えについて	実験態度によって評価する	授業中の発言によって評価する	実験の過程や成果物により評価する	実験レポート・筆記試験によって評価する	1	
2学期	9月	培地作製	実験態度や授業中の発言によって評価する	実験や実習準備の様子により評価する	実験の過程や成果物により評価する	実験レポート・筆記試験によって評価する	1	
	10月	培養植物の管理 カーネーションの茎頂培養	実験態度や授業中の発言によって評価する	実験や実習準備の様子により評価する	実験の過程や成果物により評価する	実験レポート・筆記試験によって評価する	3	
	11月	培養植物の管理 観葉植物の組織培養	実験態度や授業中の発言によって評価する	実験や実習準備の様子により評価する	実験の過程や成果物により評価する	実験レポート・筆記試験によって評価する	3	
	12月	遺伝子組み換えについて	実験態度や授業中の発言によって評価する	実験や実習準備の様子により評価する	実験の過程や成果物により評価する	実験レポート・筆記試験によって評価する	1	
3学期	1月	植物バイオテクノロジーの成果と展望	実験態度や授業中の発言によって評価する	実験や実習準備の様子により評価する	実験の過程や成果物により評価する	実験レポート・筆記試験によって評価する	2	
	2月	考査					1	
	3月	なし					0	

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期( 中間・ <u>期末</u> ) 2学期( 中間・ <u>期末</u> ) 3学期( <u>期末</u> )
作品法	実習結果 <u>レポート</u> ワークシート 他( )
観察法	授業中の <u>発言</u> 挙手など 他( )
その他	



# 令和5年度 年間授業計画

教科・科目・単位	農業・園芸デザイン(フラワーデザイン分野)・1単位	対象学年・組	3年1・2組
教科書(出版社)	なし	副教材など	なし
教科担任	山崎佳代子(特別専門講師)・片山南美子		

## 1 科目の目標

農業の見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、園芸作物の活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	植物の特性を理解し、生活の質の向上につながるよう、自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
思考・判断・表現	園芸デザインに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして、合理的かつ創造的に解決する力を養う。
技能	園芸デザインに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして、技術を身に付けさせる。
知識・理解	植物の特性を理解し、生活の質の向上につながるよう、自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	4月	2年次復習:コサージュ	実習への取り組み態度・レポートの作成態度	実習の記録(レポート作成)	実習の作業・作品の仕上がり	実習の記録(レポート)	2	
	5月	2年次復習:ドームギフトアレンジメント	実習への取り組み態度・レポートの作成態度	実習の記録(レポート作成)	実習の作業・作品の仕上がり	実習の記録(レポート)	4	
	6月	農場の草花を使ったアレンジメント	実習への取り組み態度・レポートの作成態度	実習の記録(レポート作成)	実習の作業・作品の仕上がり	実習の記録(レポート)	4	
	7月	期末考査	実習への取り組み態度・レポートの作成態度	実習の記録(レポート作成)	実習の作業・作品の仕上がり	考査	1	11
2学期	9月	アレンジメント(秋の風景)	実習への取り組み態度・レポートの作成態度	実習の記録(レポート作成)	実習の作業・作品の仕上がり	実習の記録(レポート)	2	
	10月	農産祭出品に向けて花冠の製作	実習への取り組み態度・レポートの作成態度	実習の記録(レポート作成)	実習の作業・作品の仕上がり	実習の記録(レポート)	4	
	11月	リースの製作	実習への取り組み態度・レポートの作成態度	実習の記録(レポート作成)	実習の作業・作品の仕上がり	実習の記録(レポート)	2	
	12月	期末考査	実習への取り組み態度・レポートの作成態度	実習の記録(レポート作成)	実習の作業・作品の仕上がり	考査	1	9
3学期	1月	フラワーボール	実習への取り組み態度・レポートの作成態度	実習の記録(レポート作成)	実習の作業・作品の仕上がり	実習の記録(レポート)	2	
	2月	学年末考査	実習への取り組み態度・レポートの作成態度	実習の記録(レポート作成)	実習の作業・作品の仕上がり	考査	1	3
	3月							

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期( 中間・ <u>○</u> 期末 ) 2学期( 中間 <u>○</u> 期末 ) 3学期( <u>○</u> 期末 )
作品法	<u>○</u> 実習結果 <u>○</u> レポート ワークシート 他( )
観察法	授業中の <u>○</u> 発言・挙手など 他( )
その他	相互評価

# 令和5年度 年間授業計画

教科・科目・単位	草花(類型)	対象学年・組	3年1組、2組
教科書(出版社)	草花(実教出版)	副教材など	
教科担任	前泊 洸次郎、坂本 三郎		

## 1 科目の目標

草花の知識と生産技術を習得し、草花の特性や生産に適した環境を理解するとともに、品質と生産性について技術と能力を身に付ける。

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	草花の生産と経営について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
思考・判断・表現	草花の生育状況に応じた栽培管理の時期や適切な管理を行ない、生産することができる。
技能	品質の高い切り花・鉢ものを栽培することができる。
知識・理解	草花の栽培、生産性について理解している。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	4月	・鉢もの生産 ・生態的・生理的特性、栽培技術、繁殖(ラン・観葉植物)	草花の栽培に興味を持って栽培に取り組んだか。	草花の栽培管理が適期に適切に行えたか。	草花の栽培で草姿を意識していたか。実習記録を適切に行ったか。	草花の生態的・生理生態について理解できたか。	10	
	5月	・鉢もの生産(ラン・観葉植物) ・生態的・生理的特性、栽培技術、繁殖について(カトレア)	草花の栽培に興味を持って栽培に取り組んだか。	草花の栽培管理が適期に適切に行えたか。	草花の栽培で草姿を意識していたか。実習記録を適切に行ったか。	草花の生態的・生理生態について理解できたか。	8	
	6月	・鉢もの生産(ラン・観葉植物) ・生態的・生理的特性、栽培技術、繁殖について ・都庁花壇デザイン	草花の栽培に興味を持って栽培に取り組んだか。	草花の栽培管理が適期に適切に行えたか。	草花の栽培で草姿を意識していたか。実習記録を適切に行ったか。	草花の生態的・生理生態について理解できたか。	12	
	7月	・1学期まとめ ・期末考査					6	
2学期	9月	・ポインセチアの栽培特性 ・パンジー、ビオラ鉢上げ ・花壇の種類 ・都庁花壇デザイン	草花の栽培に興味を持って栽培に取り組んだか。	草花の栽培管理が適期に適切に行えたか。	草花の栽培で草姿を意識していたか。実習記録を適切に行ったか。	草花の生態的・生理生態について理解できたか。	16	
	10月	・都庁花壇の制作 ・観葉植物の種類と特性	草花の栽培に興味を持って栽培に取り組んだか。作品制作に積極的に取り組んだか。	草花の栽培管理が適期に適切に行えたか。計画に基づき作品にすることが出来たか。	草花の栽培で草姿を意識していたか。実習記録を適切に行ったか。	草花の生態的・生理生態について理解できたか。	20	
	11月	・洋ラン「シンビジウム」 ・洋ラン「ファレノプシス」 ・寄せ植えの制作	草花の栽培に興味を持って栽培に取り組んだか。作品制作に積極的に取り組んだか。	草花の栽培管理が適期に適切に行えたか。計画に基づき作品にすることが出来たか。	草花の栽培で草姿を意識していたか。実習記録を適切に行ったか。	草花の生態的・生理生態について理解できたか。	8	
	12月	・ポインセチア出荷 ・2学期のまとめ ・期末考査	草花の栽培に興味を持って栽培に取り組んだか。	草花の栽培管理が適期に適切に行えたか。	草花の栽培で草姿を意識していたか。実習記録を適切に行ったか。	草花の生態的・生理生態について理解できたか。	4	
3学期	1月	・1年間のまとめ	草花の栽培に興味を持って栽培に取り組んだか。	草花の栽培管理が適期に適切に行えたか。	草花の栽培で草姿を意識していたか。実習記録を適切に行ったか。	草花の生態的・生理生態について理解できたか。	4	
	2月	・卒業考査					2	
	3月						—	

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期( 中間・ <u>期末</u> ) 2学期( 中間・ <u>期末</u> ) 3学期( <u>期末</u> )
授業	実習結果 レポート ワークシート 他( )
平常点	授業中の発表、発言 他( )
その他	

農産高等学校令和5年度 教科：農業 科目：園芸装飾 年間授業計画

教科：農業 科目：園芸装飾 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～4組

教科担当者：(全組：片山 )

使用教科書：( なし )

使用教材：( 自作プリント など )

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1 草花の取り扱いと主な道具・資材	・フラワーアレンジメントに使用する道具・資材 ・色の心理的効果、配色の効果	基本事項が理解できたか。 ワークシート ノート②④ 作品法(③型どおりか否かで 数値化) 観察法(①②③的確な動作 か、指定時間内できれいに仕 上げているかで数値化) レポート③	2
5月	2 色彩の基礎	・アレンジの基本形(図形) ・ラウンドスタイル ・トライアングュラー ・ホリゾンタル	基本事項が理解できたか。 ワークシート ノート②④ 作品法(③型どおりか否かで 数値化) 観察法(①②③的確な動作 か、指定時間内できれいに仕 上げているかで数値化) レポート③	2
6月	3 フラワーアレンジメントの基本1	・ドライフラワーのアレンジメント ・各回基本形のアレンジメントを作成	基本事項が理解できたか。 ワークシート ノート②④ 作品法(③型どおりか否かで 数値化) 観察法(①②③的確な動作 か、指定時間内できれいに仕 上げているかで数値化) レポート③	10
7月	4 切り花の装飾的 分類	・フラワー装飾技能士の実験 ・ラインフラワー、マスフラワー、フォームフラワー、フィラフラワー	基本事項が理解できたか。 ワークシート ノート②④ 作品法(③型どおりか否かで 数値化) 観察法(①②③的確な動作 か、指定時間内できれいに仕 上げているかで数値化) レポート③	2
8月				
9月	5 フラワーアレンジメントの基本2	・アレンジの基本形(空間) ・トピアリーのデザイン ・トライアングュラー	基本事項が理解できたか。 ワークシート ノート②④ 作品法(③型どおりか否かで 数値化) 観察法(①②③的確な動作 か、指定時間内できれいに仕 上げているかで数値化) レポート③	10
10月	5 フラワーアレンジメントの基本2	・ホリゾンタルⅡ ・パーティカル ・ハロウィーンのアレンジと季節のアレンジメントのデザイン	基本事項が理解できたか。 ワークシート ノート②④ 作品法(③型どおりか否かで 数値化) 観察法(①②③的確な動作 か、指定時間内できれいに仕 上げているかで数値化) レポート③	6
11月	6 切り花の取り扱い方法	・ホリゾンタルⅡ ・パーティカル ・クリスマスのアレンジと季節のアレンジメントのデザイン	基本事項が理解できたか。 ワークシート ノート②④ 作品法(③型どおりか否かで 数値化) 観察法(①②③的確な動作 か、指定時間内できれいに仕 上げているかで数値化) レポート③	6
12月	6 切り花の取り扱い方法	・葉の摘み方法 ・水揚げ方法	基本事項が理解できたか。 ワークシート ノート②④ 作品法(③型どおりか否かで 数値化) 観察法(①②③的確な動作 か、指定時間内できれいに仕 上げているかで数値化) レポート③	2
1月	7 ユザージュとブーケの基本	・各種ユザージュの作製 ・各種ブーケの作成	基本事項が理解できたか。 ワークシート ノート②④ 作品法(③型どおりか否かで 数値化) 観察法(①②③的確な動作 か、指定時間内できれいに仕 上げているかで数値化) レポート③	4
1月	8 園芸デザインの活用	・ヒューマンサービス分野における園芸デザインの活用	基本事項が理解できたか。 ワークシート ノート②④ 作品法(③型どおりか否かで 数値化) 観察法(①②③的確な動作 か、指定時間内できれいに仕 上げているかで数値化) レポート③	4
2月				
3月				

# 令和5年度 年間授業計画

教科・科目・単位	農業「課題研究」2単位	対象学年・組	3年1・2組
教科書(出版社)	なし	副教材など	なし
教科担任	片岡せりな 上野信二 片山南美子 岡田満江 八木孝泰 前泊洗次郎 高橋要 増田博幸		

## 1 科目の目標

農業各分野(主に農業に関する)の中で、自ら問題設定をし、解決するためにその過程を自発的、創造的に計画・実行する力を身につける。

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	農業各分野(主に農業に関する)中で、自らが興味・関心のある題材を設定することができ、課題解決に向けての態度
思考・判断・表現	農業各分野(主に農業に関する)中で、自らが設定した題材に対し、課題解決に向けて的確な実習・実験を計画・実施
技能	農業各分野(主に農業に関する)中で、自らが設定した題材に対し、課題解決に向けて的確な実習・実験が実施できる
知識・理解	農業各分野(主に農業に関する)中で、自らが設定した題材の解決に向け、適切な考察ができる。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	4月	実験・実験計画の確認	興味・関心のある題材を設定している。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。	設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手技などを身につけている。	自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。	4	
	5月	実験・実験の実践	興味・関心のある題材を設定している。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。	設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手技などを身につけている。	自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。	2	
	6月	中間報告書	興味・関心のある題材を設定している。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。	設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手技などを身につけている。	自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。	10	
	7月	1学期のまとめ	興味・関心のある題材を設定している。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。	設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手技などを身につけている。	自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。	2	
2学期	9月	実験・実習の実践	課題解決に向け、意欲的に取り組んでいる。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、効果的にまとめることができる。	新たな課題に直面したときに必要な製造技術、実験手技などを身につけている。	新たな疑問に直面したときに、その状態を理解し、解決に必要な知識を持っている。	8	
	10月	発表パネルの作成	課題解決に向け、意欲的に取り組んでいる。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、効果的にまとめることができる。	新たな課題に直面したときに必要な製造技術、実験手技などを身につけている。	新たな疑問に直面したときに、その状態を理解し、解決に必要な知識を持っている。	6	
	11月	研究報告書の作成	課題解決に向け、意欲的に取り組んでいる。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、効果的にまとめることができる。	新たな課題に直面したときに必要な製造技術、実験手技などを身につけている。	新たな疑問に直面したときに、その状態を理解し、解決に必要な知識を持っている。	4	
	12月	2学期のまとめ	課題解決に向け、意欲的に取り組んでいる。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、効果的にまとめることができる。	新たな課題に直面したときに必要な製造技術、実験手技などを身につけている。	新たな疑問に直面したときに、その状態を理解し、解決に必要な知識を持っている。	2	
3学期	1月	研究報告書の完成 口頭発表	発表に向け意欲的に取り組んでいる。	聞き手、読み手に伝わりやすく、自分の研究成果を発表できる。	効果的な発表に必要なPO操作ができる。	発表に必要な知識を身に付けて理解している。	6	
	2月					0		
	3月					0		

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期(中間・期末) 2学期(中間・期末) 3学期(期末)
作品法	実験結果 <input checked="" type="checkbox"/> ポート <input checked="" type="checkbox"/> シート 他( )
観察法	授業中の取り組みなど <input checked="" type="checkbox"/> 他( )
その他	

## 5 その他

# 令和5年度 年間授業計画

教科・科目・単位	農業(総合実習)3単位	対象学年・組	3年1組、2組
教科書(出版社)		副教材など	
教科担任	片岡・上野・八木		

## 1 科目の目標

各分野の実践的な実習や圃場の管理作業を通じて、農業の各分野の知識・技術を習得し、生産性を上げ、改善を図るための資質・能力を育成する。

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会的貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
思考・判断・表現	農業を総合的に捉え体系的農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的解決する力を養う。
技能	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付けるようにする。
知識・理解	環境調節など農業各分野の経営・管理に関する総合的な知識を身に付け、各分野の技術的な仕組みと相互関係を理解している。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	4月	ナス科等の栽培 草花の生産、花壇の管理他 ロープワーク 他	学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとする。学習内容をより深く理解しようとしたか。問題点を捉	栽培や学習した事柄を元にして、総合的に考えることができたか。実習したことを元にして、分析したり、論理的に考えたり、科学的	目的に即した実験の技能を習得し、観察や計測ができたか。実験で得られたデータを的確に処理できたか。	栽培などの学習を通して基本的な事柄について正しく理解し、知識を身につけているか。		
	5月	ナス科等の栽培 草花の生産、花壇の管理他 サツキツツジの根巻き 他	学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとする。学習内容をより深く理解しようとしたか。問題点を捉	栽培や学習した事柄を元にして、総合的に考えることができたか。実習したことを元にして、分析したり、論理的に考えたり、科学的	目的に即した実験の技能を習得し、観察や計測ができたか。実験で得られたデータを的確に処理できたか。	栽培などの学習を通して基本的な事柄について正しく理解し、知識を身につけているか。		
	6月	ナス科等の栽培 草花の生産、花壇の管理他 製図 他	学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとする。学習内容をより深く理解しようとしたか。問題点を捉	栽培や学習した事柄を元にして、総合的に考えることができたか。実習したことを元にして、分析したり、論理的に考えたり、科学的	目的に即した実験の技能を習得し、観察や計測ができたか。実験で得られたデータを的確に処理できたか。	栽培などの学習を通して基本的な事柄について正しく理解し、知識を身につけているか。		
	7月							
2学期	9月	ハクサイ等の栽培 草花の生産、花壇の管理他 四ツ目垣の作製(位置出し、材料加工)	学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとする。学習内容をより深く理解しようとしたか。問題点を捉	栽培や学習した事柄を元にして、総合的に考えることができたか。実習したことを元にして、分析したり、論理的に考えたり、科学的	目的に即した実験の技能を習得し、観察や計測ができたか。実験で得られたデータを的確に処理できたか。	栽培などの学習を通して基本的な事柄について正しく理解し、知識を身につけているか。		
	10月	ハクサイ等の栽培 草花の生産、花壇の管理他 四ツ目垣の作製(組み立て)	学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとする。学習内容をより深く理解しようとしたか。問題点を捉	栽培や学習した事柄を元にして、総合的に考えることができたか。実習したことを元にして、分析したり、論理的に考えたり、科学的	目的に即した実験の技能を習得し、観察や計測ができたか。実験で得られたデータを的確に処理できたか。	栽培などの学習を通して基本的な事柄について正しく理解し、知識を身につけているか。		
	11月	ハクサイ等の栽培 草花の生産、花壇の管理他 四ツ目垣の作成(完成)	学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとする。学習内容をより深く理解しようとしたか。問題点を捉	栽培や学習した事柄を元にして、総合的に考えることができたか。実習したことを元にして、分析したり、論理的に考えたり、科学的	目的に即した実験の技能を習得し、観察や計測ができたか。実験で得られたデータを的確に処理できたか。	栽培などの学習を通して基本的な事柄について正しく理解し、知識を身につけているか。		
	12月	期末考査						
3学期	1月	土壌改良 草花の生産、花壇の管理他 関守石の作成	学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとする。学習内容をより深く理解しようとしたか。問題点を捉	栽培や学習した事柄を元にして、総合的に考えることができたか。実習したことを元にして、分析したり、論理的に考えたり、科学的	目的に即した実験の技能を習得し、観察や計測ができたか。実験で得られたデータを的確に処理できたか。	栽培などの学習を通して基本的な事柄について正しく理解し、知識を身につけているか。		
	2月	期末考査						
	3月							

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期(中間・期末) 2学期(中間・期末) 3学期(期末)
作品法	実習結果 (ポスター) ワークシート 他( )
観察法	授業中の発言・挙手など 他( )
その他	

## 5 その他

# 令和5年度 年間授業計画

教科・科目・単位	農業・造園技術-4単位	対象学年・組	3学年 1・2組
教科書(出版社)	造園技術(東京電機大学出版局)	副教材など	自作プリント
教科担任	片岡せりな 山崎 流雲 田中 正己(外部講師)		

## 1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行い、造園技術に必要な資質・能力を育成する。

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	造園に関することに関心を持ち、自ら考え行動することができる。
思考・判断・表現	いろいろな教科と結びつけながら論理的に考え、自らの意見や考えを表現・判断することができる。
技能	造園道具を正しく扱うことができる。また、作業効率を考え、効果的な方法で造園道具を扱うことができる。
知識・理解	造園技術に関する知識を身につけ、授業の内容について十分に理解できる。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	4月	ガイダンス・松の緑摘み	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言および実技の様子から	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やレポートにより評価	8	
	5月	芝生について 都庁花壇の植栽について	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言および実技の様子から	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やレポートにより評価	12	
	6月	コンクリートについて	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言および実技の様子から	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やレポートにより評価	12	
	7月	期末考査					1	
2学期	9月	竹垣の施工	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言および実技の様子から	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やレポートにより評価	12	
	10月	樹木支柱について	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言および実技の様子から	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やレポートにより評価	12	
	11月	落葉樹の剪定	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言および実技の様子から	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やレポートにより評価	12	
	12月	期末考査					1	
3学期	1月	延段について	授業中の態度から評価する。	授業中の生徒からの発言および実技の様子から	授業中の生徒の様子から評価する。	授業中の生徒からの発言やレポートにより評価	16	
	2月	卒業考査					1	
	3月							

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期(中間 ○ 期末 ) 2学期(中間 ○ 期末 ) 3学期( 期末 )
作品法	実習結果 ○ レポート ワークシート 他( )
観察法	授業中の発言・挙手など 他( 実習の様子から技術習得レベルを判断する )
その他	

## 5 その他



# 令和5年度 年間授業計画

教科・科目・単位	農業「課題研究」3単位	対象学年・組	3年3-4組
教科書(出版社)	なし	副教材など	なし
教科担任	田中智弘 大野浩 佐藤桃子 加藤誠 味岡結奈 工藤大志 佐藤駿樹		

## 1 科目の目標

農業各分野(主に食品製造に関する)の中で、自ら問題設定をし、解決するためにその過程を自発的、創造的に計画・実行する力を身につける。

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	農業各分野(主に食品製造に関する)の中で、自らが興味・関心のある題材を設定することができ、課題解決に向けての
思考・判断・表現	農業各分野(主に食品製造に関する)の中で、自らが設定した題材に対し、課題解決に向けて的確な実習・実験を計画・実
技能	農業各分野(主に食品製造に関する)の中で、自らが設定した題材に対し、課題解決に向けて的確な実習・実験が実施で
知識・理解	農業各分野(主に食品製造に関する)の中で、自らが設定した題材の解決に向け、適切な考察ができる。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	4月	実験・実験計画の確認	興味・関心のある題材を設定している。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。	設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手法などを身につけている。	自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。	6	
	5月	実験・実験の実践	興味・関心のある題材を設定している。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。	設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手法などを身につけている。	自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。	9	
	6月	中間報告書	興味・関心のある題材を設定している。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。	設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手法などを身につけている。	自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。	9	
	7月	1学期のまとめ	興味・関心のある題材を設定している。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。	設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手法などを身につけている。	自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。	3	
2学期	9月	実験・実習の実践	課題解決に向け、意欲的に取り組んでいる。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、効果的にまとめることができる。	新たな課題に直面したときに必要な製造技術、実験手法などを身につけている。	新たな疑問に直面したときに、その状態を理解し、解決に必要な知識を持っている。	7	
	10月	発表パネルの作成	課題解決に向け、意欲的に取り組んでいる。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、効果的にまとめることができる。	新たな課題に直面したときに必要な製造技術、実験手法などを身につけている。	新たな疑問に直面したときに、その状態を理解し、解決に必要な知識を持っている。	9	
	11月	研究報告書の作成	課題解決に向け、意欲的に取り組んでいる。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、効果的にまとめることができる。	新たな課題に直面したときに必要な製造技術、実験手法などを身につけている。	新たな疑問に直面したときに、その状態を理解し、解決に必要な知識を持っている。	9	
	12月	2学期のまとめ	課題解決に向け、意欲的に取り組んでいる。	自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、効果的にまとめることができる。	新たな課題に直面したときに必要な製造技術、実験手法などを身につけている。	新たな疑問に直面したときに、その状態を理解し、解決に必要な知識を持っている。	6	
3学期	1月	研究報告書の完成 口頭発表	発表に向け意欲的に取り組んでいる。	聞き手、読み手に伝わりやすく、自分の研究成果を発表できる。	効果的な発表に必要なPC操作ができる。	発表に必要な知識を身に付けて理解している。	9	
	2月	1年間のまとめ	発表に向け意欲的に取り組んでいる。	聞き手、読み手に伝わりやすく、自分の研究成果を発表できる。	効果的な発表に必要なPC操作ができる。	発表に必要な知識を身に付けて理解している。	2	
	3月						0	

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期(中間・期末) 2学期(中間・期末) 3学期(期末)
作品法	実習結果 <input checked="" type="checkbox"/> ポ <input checked="" type="checkbox"/> ート <input checked="" type="checkbox"/> ーシート 他( )
観察法	授業中の取り組みなど <input checked="" type="checkbox"/> 他( )
その他	

## 5 その他



# 令和5年度 年間授業計画

教科・科目・単位	農業「食品デザイン」2単位	対象学年・組	3年3・4組 流通類型
教科書(出版社)	なし	副教材など	なし
教科担任	加藤幸弘 佐藤駿樹		

## 1 科目の目標

食品開発を中心として生徒自らが創意工夫を行い、安心で良質な食品を目指し、消費者から支持を得られる商品作りを行うことで、製造と流通方法、そして消費行動を学び、社会における食品開発の意義や役割を学ぶ。

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	食品開発に興味関心を持ち、各自およびグループで問題解決に意欲的に取り組む態度を育てる。
思考・判断・表現	社会において食品開発に関する問題を考察し、それを実践的に応用できる能力を育てる。
技能	食品開発における情報の収集、処理及び活用に関する基本的な技術を身につけ、結果や考察などを正確に表現させ
知識・理解	食品開発に関する基礎的な知識を身につけ、実践的な方法を利用して理解する力を育てる。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	4月	食品デザインの基礎・マーケティング	食品開発に興味・関心を持ち、各自及びグループで問題解決に意欲的に取り組む態度を実践的に身につけている。	社会において食品開発に関する問題を考察し、それを実践的に応用できる能力を身につけている。	食品開発における情報の収集、処理及び活用に関する基本的な技術を身につけ、結果や考察などを正確に表現する。	食品開発に関する基礎的な知識を身につけ、実践的な方法を利用して理解している。	4	
	5月	商品開発(市場の分割・ターゲット)	食品開発に興味・関心を持ち、各自及びグループで問題解決に意欲的に取り組む態度を実践的に身につけている。	社会において食品開発に関する問題を考察し、それを実践的に応用できる能力を身につけている。	食品開発における情報の収集、処理及び活用に関する基本的な技術を身につけ、結果や考察などを正確に表現する。	食品開発に関する基礎的な知識を身につけ、実践的な方法を利用して理解している。	6	
	6月	商品開発(試作実習1)・販売準備	食品開発に興味・関心を持ち、各自及びグループで問題解決に意欲的に取り組む態度を実践的に身につけている。	社会において食品開発に関する問題を考察し、それを実践的に応用できる能力を身につけている。	食品開発における情報の収集、処理及び活用に関する基本的な技術を身につけ、結果や考察などを正確に表現する。	食品開発に関する基礎的な知識を身につけ、実践的な方法を利用して理解している。	7	
	7月	1学期のまとめ	食品開発に興味・関心を持ち、各自及びグループで問題解決に意欲的に取り組む態度を実践的に身につけている。	社会において食品開発に関する問題を考察し、それを実践的に応用できる能力を身につけている。	食品開発における情報の収集、処理及び活用に関する基本的な技術を身につけ、結果や考察などを正確に表現する。	食品開発に関する基礎的な知識を身につけ、実践的な方法を利用して理解している。	3	
2学期	9月	商品開発(試作実習2)・販売準備	食品開発に興味・関心を持ち、各自及びグループで問題解決に意欲的に取り組む態度を実践的に身につけている。	社会において食品開発に関する問題を考察し、それを実践的に応用できる能力を身につけている。	食品開発における情報の収集、処理及び活用に関する基本的な技術を身につけ、結果や考察などを正確に表現する。	食品開発に関する基礎的な知識を身につけ、実践的な方法を利用して理解している。	5	
	10月	商品開発(試作実習2)の評価・販売	食品開発に興味・関心を持ち、各自及びグループで問題解決に意欲的に取り組む態度を実践的に身につけている。	社会において食品開発に関する問題を考察し、それを実践的に応用できる能力を身につけている。	食品開発における情報の収集、処理及び活用に関する基本的な技術を身につけ、結果や考察などを正確に表現する。	食品開発に関する基礎的な知識を身につけ、実践的な方法を利用して理解している。	6	
	11月	農産カフェに向けて準備販売実践	食品開発に興味・関心を持ち、各自及びグループで問題解決に意欲的に取り組む態度を実践的に身につけている。	社会において食品開発に関する問題を考察し、それを実践的に応用できる能力を身につけている。	食品開発における情報の収集、処理及び活用に関する基本的な技術を身につけ、結果や考察などを正確に表現する。	食品開発に関する基礎的な知識を身につけ、実践的な方法を利用して理解している。	6	
	12月	2学期のまとめ	食品開発に興味・関心を持ち、各自及びグループで問題解決に意欲的に取り組む態度を実践的に身につけている。	社会において食品開発に関する問題を考察し、それを実践的に応用できる能力を身につけている。	食品開発における情報の収集、処理及び活用に関する基本的な技術を身につけ、結果や考察などを正確に表現する。	食品開発に関する基礎的な知識を身につけ、実践的な方法を利用して理解している。	3	
3学期	1月	成果発表準備・効果的なプレゼンテーション	食品開発に興味・関心を持ち、各自及びグループで問題解決に意欲的に取り組む態度を実践的に身につけている。	社会において食品開発に関する問題を考察し、それを実践的に応用できる能力を身につけている。	食品開発における情報の収集、処理及び活用に関する基本的な技術を身につけ、結果や考察などを正確に表現する。	食品開発に関する基礎的な知識を身につけ、実践的な方法を利用して理解している。	4	
	2月	1年間のまとめ	食品開発に興味・関心を持ち、各自及びグループで問題解決に意欲的に取り組む態度を実践的に身につけている。	社会において食品開発に関する問題を考察し、それを実践的に応用できる能力を身につけている。	食品開発における情報の収集、処理及び活用に関する基本的な技術を身につけ、結果や考察などを正確に表現する。	食品開発に関する基礎的な知識を身につけ、実践的な方法を利用して理解している。	2	
	3月						0	

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期(中間・ <u>期末</u> ) 2学期(中間・ <u>期末</u> ) 3学期(期末)
作品法	実習結果 <u>ポ</u> ト <u>フ</u> ーシット 他( )
観察法	<u>授業中の発言・挙手</u> など 他( )
その他	

# 2023年度 年間授業計画

教科・科目・単位	農業・食品化学・2単位	対象学年・組	3年3組4組食品科栄養類型
教科書(出版社)	準教科書 食品化学(実教出版)	副教材など	食品成分表(女子栄養大学出版部)
教科担任	大野 浩、田中智弘		

## 1 科目の目標

食品の成分分析と検査に必要な知識と技術を習得させ、食品の成分と栄養価値を理解させるとともに、食品製造及び農業の各分野で応用する能力と態度を育てる。

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	食品の成分・栄養に関心を持ち、授業に意欲的に取り組むことができる。
思考・判断・表現	食品や原材料の成分分析に関する実験・実習の原理について理解できる。
技能	食品や原材料の成分分析に関する技術を習得させ、プリント・レポートにまとめることができる。
知識・理解	食品の成分と栄養について理解することができる。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	4月	食品の栄養成分 微量成分 食品成分の消化と吸収	食品の成分や栄養、食品成分の消化と吸収について関心と興味をもち、意欲的に取り組んでいる。	食品の成分や栄養、食品成分の消化と吸収について科学的に思考し、判断、表現ができる。	食品成分の分析方法を身につけ、正しい操作ができる。	食品の成分や栄養、食品成分の消化と吸収について理解している。得た知識を食品製造に結び付けて理解することができる。	2	
	5月	食品の栄養成分 微量成分 食品成分の消化と吸収					2	
	6月	食品の栄養成分 微量成分 食品成分の消化と吸収					10	
	7月	食品の栄養成分 微量成分 食品成分の消化と吸収					3	
2学期	9月	食品の成分分析 食品の栄養的価値とその評価	食品の成分や栄養、食品成分の消化と吸収について関心と興味をもち、意欲的に取り組んでいる。	食品の成分や栄養、食品成分の消化と吸収について科学的に思考し、判断、表現ができる。	食品成分の分析方法を身につけ、正しい操作ができる。	食品の成分や栄養、食品成分の消化と吸収について理解している。得た知識を食品製造に結び付けて理解することができる。	8	
	10月	食品の成分分析 食品の栄養的価値とその評価					6	
	11月	食品の成分分析 食品群別の成分と栄養					6	
	12月	食品の成分分析 食品群別の成分と栄養					3	
3学期	1月	食品の成分分析 食品群別の成分と栄養	食品の成分や栄養、食品成分の消化と吸収について関心と興味をもち、意欲的に取り組んでいる。	食品の成分や栄養、食品成分の消化と吸収について科学的に思考し、判断、表現ができる。	食品成分の分析方法を身につけ、正しい操作ができる。	食品の成分や栄養、食品成分の消化と吸収について理解している。得た知識を食品製造に結び付けて理解することができる。	4	
	2月	食品の成分分析 食品群別の成分と栄養					1	
	3月							

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期(中間・期末) 2学期(中間・期末) 3学期(期末)
作品法	実習結果 レポート ワークシート 他( )
観察法	授業中の発言・挙手など 他( )
その他	

## 5 その他

# 令和5年度 年間授業計画

教科・科目・単位	教科 農業 - 科目 食品環境 - 単位 2単位	対象学年・組	3年3・4組栄養類型
教科書(出版社)	なし	副教材など	なし
教科担任	佐藤 駿樹、加藤 幸弘		

## 1 科目の目標

食品に関わる衛生管理、土壌や水質汚染、環境問題、食料問題、食品産業に至るまで幅広く学び、単元ごとに問題意識を持たせ、自らの考えをまとめる力を身に付けさせる。

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	食品衛生、食品を製造する環境について興味・関心を持たせる。
思考・判断・表現	日ごろの食品製造実習において安全・衛生に配慮して行動できるようにする。
技能	食品に関する問題について自らの考えをまとめることができる。
知識・理解	食品環境に関する知識を習得し、食品製造における重要性を理解させる。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考				
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解						
1学期	4月	工場衛生 環境汚染 日本の農業・農村と食料供給	食品環境に関心を持ち、授業に意欲的に取り組んでいるか。	日ごろの食品製造実習において実践できているか。	食品に関する問題について自らの考えをまとめることができる。	食品環境についての知識を身に付け、実践できているか。	2					
	5月	工場衛生 環境汚染 日本の農業・農村と食料供給					6					
	6月	安全と安心の確保 トレーサビリティシステム 地球環境と水・大気問題					6					
	7月	期末考査										
2学期	9月	食品産業 食品ロスについて									6	
	10月	食料問題 食品と水資源									6	
	11月	食料問題 食品と水資源									6	
	12月	期末考査										
3学期	1月	1年間のまとめ									6	
	2月											
	3月											

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期( 中間 (○) 期末 ) 2学期( 中間 (○) 期末 ) 3学期( 期末 )
作品法	実習結果 (○) レポート ワークシート 他( )
観察法	授業中の発言・挙手など 他( )
その他	

## 5 その他

# 令和5年度 年間授業計画

教科・科目・単位	農業 食品流通 2単位	対象学年・組	3年3・4組食品流通類型
教科書(出版社)	食品流通(実教出版)	副教材など	販売士検定3級テキスト
教科担任	味岡結奈・佐藤桃子		

## 1 科目の目標

農産物を主とする食品の流通に必要な知識を学ぶ。また、食品の特性と流通構造を理解し、食品流通と管理の合理化を図る能力と態度を育て、販売士検定3級合格を目指す。

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	食品流通について感心を持ち、積極的に学習を進める態度を育てる。
思考・判断・表現	身につけた知識や技能をもって、現在の流通の動向について考えられる力を育てる。
技能	流通全般の一般的な技能を身につけ、社会に通用する資格を取得できるように支援を行う。
知識・理解	定期テストや授業内の問題演習などで知識の定義を図るとともに、理解度を確認する。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	4月	販売士3級受検に向けての学習	検定受検に向けて意欲的に学習している	学習の内容が実生活で生かすことができる	各項目ごとの合格点数(70%以上の正答)を出せる	リテールマーケティング検定の内容を理解している	4	
	5月		検定受検に向けて意欲的に学習している	学習の内容が実生活で生かすことができる	各項目ごとの合格点数(71%以上の正答)を出せる	リテールマーケティング検定の内容を理解している	10	
	6月		検定受検に向けて意欲的に学習している	学習の内容が実生活で生かすことができる	各項目ごとの合格点数(72%以上の正答)を出せる	リテールマーケティング検定の内容を理解している	8	
	7月		検定受検に向けて意欲的に学習している	学習の内容が実生活で生かすことができる	各項目ごとの合格点数(73%以上の正答)を出せる	リテールマーケティング検定の内容を理解している	2	
2学期	9月	おもな食品の流通	食品の流通に関して積極的に学習している	学習の内容が実生活で生かすことができる	設定した課題(ノート提出等)をこなすことができる	食品の流通に関するさまざまな内容を理解している	6	
	10月		食品の流通に関して積極的に学習している	学習の内容が実生活で生かすことができる	設定した課題(ノート提出等)をこなすことができる	食品の流通に関するさまざまな内容を理解している	8	
	11月	食品の品質と規格	食品の流通に関して積極的に学習している	学習の内容が実生活で生かすことができる	設定した課題(ノート提出等)をこなすことができる	食品の流通に関するさまざまな内容を理解している	6	
	12月		食品の流通に関して積極的に学習している	学習の内容が実生活で生かすことができる	設定した課題(ノート提出等)をこなすことができる	食品の流通に関するさまざまな内容を理解している	2	
3学期	1月	食品の流通	食品の流通に関して積極的に学習している	学習の内容が実生活で生かすことができる	設定した課題(ノート提出等)をこなすことができる	食品の流通に関するさまざまな内容を理解している	6	
	2月		食品の流通に関して積極的に学習している	学習の内容が実生活で生かすことができる	設定した課題(ノート提出等)をこなすことができる	食品の流通に関するさまざまな内容を理解している	1	
	3月							

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期(期末) 2学期(期末) 3学期(期末)
作品法	ワークシート ノート提出
観察法	授業中の発言・挙手など
その他	

## 5 その他

# 令和5年度 年間授業計画

教科・科目・単位	農業「総合実習」4単位	対象学年・組	3年3・4組
教科書(出版社)	なし	副教材など	なし
教科担任	加藤誠 工藤大志 味岡結奈 大野志津子 中嶋多恵子		

## 1 科目の目標

食品製造及び農業各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な技術を習得させ、経営と管理について理解を深めさせるとともに、管理能力や企画力など農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	農業各分野の技術の役割や相互関係に関心を持ち、経営・管理や現場実習に意欲的に取り組むとともに、農業各分野の改善を図ろうとする創造的、実践的な態度を身につけている。
思考・判断・表現	経営・管理における技術の役割や、相互関係を多面的に考察し、経営・管理の状況を合理的に判断するとともに、企画力など農業各分野の改善を図る創造的、実践的な能力を身につけている。
技能	環境調節など農業各分野の経営・管理に関する総合的な技術を身につけ、生産・加工の技術や経営・管理の状況を的確に表現する。
知識・理解	環境調節など農業各分野の経営・管理に関する総合的な技術を身につけ、各分野の技術的な仕組みと総合関係を理解している。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	4月	オリエンテーション(総合実習について) ※3分野を類型ごとにローテーションで学習する	製造・実験に関する知識についての理解度をテストにより評価する。	製造・実験・販売の工程や、教員のデモンストレーションを頭におきながら、次の作業ができるか実験・実習・販売の様子を評価する。	製品・実験・販売結果とそれに関するレポートを評価する。	生産品、実験、販売に関する知識についての理解度をテストにより評価する。	6	
	5月	(食品流通類型) 園芸加工: マーメイド、パイナップル缶詰					12	
	6月	穀類加工: シフォンケーキ、ハウンドケーキ 衛生実験: 衛生検査と顕微鏡操作					12	
	7月	1学期のまとめ					1	
2学期	9月	(食品流通類型) 園芸加工: イチゴジャム、ケチャップ	製造・実験に関する知識についての理解度をテストにより評価する。	製造・実験・販売の工程や、教員のデモンストレーションを頭におきながら、次の作業ができるか実験・実習・販売の様子を評価する。	製品・実験・販売結果とそれに関するレポートを評価する。	生産品、実験、販売に関する知識についての理解度をテストにより評価する。	9	
	10月	穀類加工: 角食パン、シュークリーム					12	
	11月	衛生実験: 発酵試験、グラム染色					9	
	12月	2学期のまとめ					1	
3学期	1月	(食品流通類型) 園芸加工: 漬し鮎 穀類加工: デコレーションケーキ	製造・実験に関する知識についての理解度をテストにより評価する。	製造・実験・販売の工程や、教員のデモンストレーションを頭におきながら、次の作業ができるか実験・実習・販売の様子を評価する。	製品・実験・販売結果とそれに関するレポートを評価する。	生産品、実験、販売に関する知識についての理解度をテストにより評価する。	9	
	2月	衛生実験: 過酸化水素の測定					1	
	3月	3学期のまとめ					0	

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期(中間・ <u>期末</u> ) 2学期(中間・ <u>期末</u> ) 3学期( <u>期末</u> )
作品法	<u>実習結果</u> <u>レポート</u> <u>シート</u> 他( )
観察法	<u>授業中の発言・挙手など</u> 他( )
その他	

# 2023年度 年間授業計画

教科・科目・単位	農業・総合実習・4単位	対象学年・組	3年3・4組 食品科栄養類型
教科書(出版社)	なし	副教材など	なし
教科担任	田中智弘、佐藤桃子、大野 浩、秋永美和子、内藤和美		

## 1 科目の目標

食品製造及び農業各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な技術を習得させ、経営と管理について理解を深めさせるとともに、管理能力や企画力など農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

## 2 学習の目標

関心・意欲・態度	農業各分野の技術の役割や相互関係に関心を持ち、経営・管理や現場実習に意欲的に取り組むとともに、農業各分野の改善を図ろうとする創造的、実践的な態度を身につけている。
思考・判断・表現	経営・管理における技術の役割や、相互関係を多面的に考察し、経営・管理の状況を合理的に判断するとともに、企画力など農業各分野の改善を図る創造的、実践的な能力を身につけている。
技能	環境調節など農業各分野の経営・管理に関する総合的な技術を身につけ、生産・加工の技術や経営・管理の状況を的確に表現する。
知識・理解	環境調節など農業各分野の経営・管理に関する総合的な技術を身につけ、各分野の技術的な仕組みと総合関係を理解している。

## 3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	4月	オリエンテーション (※3分野をローテーションで学習) 醸造:みその成分分析・みそ製造(天地返し)、畜産加工:カスタードブ ディングの製造・さつまあげの製造、 食品化学実験:ソックスレー法による 脂質の定量、ソモギー変法による炭 水化合物の定量	製造・実験に関 する知識につい ての理解度をテ ストにより評価 する。	製造・実験・販 売の工程や、教 員のデモンスト レーションを頭におき ながら、次の作 業ができるか実 験・実習・販売 の様子を評価 する。	製品・実験・販 売結果とそれ に関するレポート を評価する。	生產品、実験、 販売に関する 知識について の理解度をテス トにより評価す る。	6	
	5月	12						
	6月	12						
	7月	1学期のまとめ					2	
2学期	9月	醸造:ワイン製造・濃引き・みその製 品化、畜産加工:中華饅頭の製 造・スモークチキンの製造、 食品化学実験:ケルダール法によるタ ンパク質の定量	製造・実験に関 する知識につい ての理解度をテ ストにより評価 する。	製造・実験・販 売の工程や、教 員のデモンスト レーションを頭におき ながら、次の作 業ができるか実 験・実習・販売 の様子を評価 する。	製品・実験・販 売結果とそれ に関するレポート を評価する。	生產品、実験、 販売に関する 知識について の理解度をテス トにより評価す る。	9	
	10月	12						
	11月	9						
	12月	2学期のまとめ					2	
3学期	1月	醸造:ワインゼリー・ワインの分析、 畜産加工:ウイナーソーセージの製 造、食品化学実験:モール法による 食塩の定量	製造・実験に関 する知識につい ての理解度をテ ストにより評価 する。	製造・実験・販 売の工程や、教 員のデモンスト レーションを頭におき ながら、次の作 業ができるか実 験・実習・販売 の様子を評価 する。	製品・実験・販 売結果とそれ に関するレポート を評価する。	生產品、実験、 販売に関する 知識について の理解度をテス トにより評価す る。	9	
	2月	1年間のまとめ					1	
	3月							

## 4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期( 中間 <input type="radio"/> 期末 <input checked="" type="radio"/> ) 2学期( 中間 <input type="radio"/> 期末 <input checked="" type="radio"/> ) 3学期( <input type="radio"/> 期末 <input checked="" type="radio"/> )
作品法	実習結果 <input checked="" type="radio"/> レポート <input checked="" type="radio"/> ワークシート <input type="radio"/> 他( <input type="radio"/> )
観察法	授業中の発言・挙手など <input type="radio"/> 他 <input checked="" type="radio"/> 実習態度 <input type="radio"/> )
その他	

## 5 その他